



# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度  
国際ロータリーのテーマ  
地域を育み、大陸をつなぐ  
2010～2011年度  
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日  
会幹 長：田中 隆義  
事 員 事：加納 裕  
クラブ委員長：梅村 昌孝  
例会 日：毎週木曜日 PM12:30～  
会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号  
TEL：052-211-3803  
FAX：052-211-2623  
MAIL：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1495回例会

～識字率向上月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年3月3日(木) 晴 第32回

司 会：鶴田 浩会場委員  
斉 唱：「君が代」「奉仕の理想」  
ゲスト：中国華南理工大学外国語学院日本語学科 准教授  
金華さん  
ビクター：名古屋北RC 除堅さん  
名古屋和合RC 宮下幸二郎さん  
米山奨学生 楽怡さん

### 会長挨拶

田中隆義会長

皆さんこんにちは。今日は3月3日。ひな祭りの日です。ひな祭りの由来について調べましたのでお話し致します。

ひな祭りは桃の節句とも言われます。昔は人日(じんじつ)、上巳(じょうし)、端午(たんど)、七夕(たなばた)、重陽(ちようよう)の五つの節句がありました。人日は1月7日「七草がゆ」、上巳は3月3日「桃の節句」、端午は5月5日「端午の節句」、七夕は7月7日「七夕祭り」、重陽は9月9日「菊の節句」です。節句という行事は、貴族の間では季節の節目に身の汚れを祓う大切なものでした。「桃の節句」の日には、菖草を摘んで、菖草で身体の汚れを祓って厄払いをして健康を願いました。

平安時代には、出産の際に死亡率が高かったので、枕元に身代わりの人形(ひとがた)を置く風習がありました。人形とは、身代わりという意味で、この風習は自分の災いを引き受けてくれた人形を流す「流し雛」へと発展し、今日まで残っています。雛人形の「ひな」とは小さくてかわいいものという意味があります。室町時代になると、「桃の節句」は3月3日になり、紙の雛から、豪華なお雛様を飾るようになり、宮中で盛大にお祝いをするようになったとのことです。それが武家社会、裕福な家庭に広がり、江戸時代中期になると段飾りが飾られたとのことです。

一生の災いをこの人形に身代わりさせるということで、武家の子など身分の高い女性の嫁入り道具のひとつとなり、自然に華美になり、より贅沢なものになっていったようです。今、徳川美術館で開催中の「尾張徳川家の雛祭り」では豪華なものがみられます。

人形の配置ですが、日本では古来は「左」が上の位で、左大臣が一番上位で天皇から見て左側(こちらから見て向かって右)にいます。「左近の桜、右近の橘」の桜は天皇の左側になります。明治天皇の時代までは、左が高位という伝統がありました。しかし明治の文明開化で西洋化し、大正天皇は即位式の時には右側に立ち、それ以降皇室の伝統になっているようです。それを真似て東京では男雛を右(向かって左)に配置する家庭が多くなり、長い歴史のある京都など関西では、旧くからの伝統を重んじ男雛を向かって右に置く家庭が多いようです。人形の話だけ



ではなく、皆さんの家庭でも自分と奥さんではどちらが右に座っているかよく考えてみて下さい。ちなみに、社団法人日本人形協会では昭和天皇の即位以来、男雛を向かって左に置くのを「現代式」、右に置くのを「古式」とし、どちらでも構わないとのことでした。

### 幹事報告

加納裕幹事

- ・本日13時40分より9階「ことぶきの間」にて第9回理事会を開催致します。
- ・次週3月10日(木)15時より4階「藤の間」にて地区大会第2部会、18時より4階「桜の間」にてI.D.M.を開催致します。

### 出席報告

鈴木淑久出席副委員長

会員66名 出席54名 (出席計算人数51名)

出席率 88.5%

2月24日は補填により 93.1%

### ニコボックス

鈴木淑久ニコボックス副委員長

- ・あけましておめでとうございます。お久しぶりです。  
宗宮 信賢さん
- ・今月は結婚記念日と妻の誕生日です。  
鈴木 淑久さん
- ・3月1日は78回目の誕生日でした。これからもよろしく。  
岩本 成郎さん
- ・本日の卓話の金華さんを宜敷お願い致します。  
名古屋和合RC 宮下幸二郎さん
- ・先日は落合さん、お世話になりました。お陰様で楽しいイベントになりました。ありがとうございました。  
鶴田 浩さん
- ・2月27日(日)杉村さんに支えられながら藤原岳に登りました。  
道なき道に入り込み大変でしたが、楽しい山行でした。  
吉木 洋二さん
- ・今日は体調不良です。  
松波 恒彦さん
- ・先日、野崎さんのお世話で楽しい時間を過ごしました。昨日、鈴木さんにお世話になりました。ありがとうございました。  
関谷 俊征さん
- ・久しぶりに出席です。  
内田 久利さん

### 3月お誕生日おめでとう

岩本 成郎さん 伊藤 豪さん 大川 嘉成さん  
西沢 功晋さん

### 委員会・同好会報告

#### クラブ奉仕委員会：天野正明委員長

3月10日(木)はI.D.M.例会です。いつもと違いテーブルが指定席になっています。職業奉仕についてテーブルごとに話し合ってください。テーマ「どんな想いで経営をしていますか?」です。

## 委嘱状伝達

2011～2012年度地区出向者として出向される方々に、田中会長より委嘱状が伝達されました。



- ・増田盛英さん(ポリオプラス委員長)
- ・天野正明さん(研修委員)
- ・稲葉 徹さん(環境保全委員)
- ・高村博三さん(地区大会企画委員)
- ・遠山堯郎さん(地区大会企画委員)
- ・高木 勝さん(職業奉仕委員)
- ・加納 裕さん(職業研修チーム委員)

## ポール・ハリス・フェロー表彰



ポール・ハリス・フェローとなりました市岡正蔵さんに田中会長より認証状と襟ピンが贈呈されました。

## 卓話 中国華南理工大学外国語学院日本語学科 准教授 金華さん

### 中国の現状と大学の日本語教育



ただ今ご紹介に預りました金華と申します。このたびは、中国国家交流基金の派遣で名古屋大学国際言語文化研究科の教授と共同研究ということで、一時来日しております。現在は中国の広東省広州市にある名門の国立大学である、中国華南理工大学外国語学院で日本語を教えております。また2007年からずっと愛知学院大学人間文化研究所の嘱託研究員もしております。日本へは2000年に留学で来ました。そして2003年に修士号、2006年に博士号を取り、同年3月に文学博士の学位をもらいました。

私を大きく成長させてくれた日本、そして日本の皆様に、私はいつも感謝しております。そのような感謝の気持ちを今日のテーマである「中国の現状と大学の日本語教育」というお話で、日本人と中国人とのぎくしゃくしたところ、誤解のあるところが少しでも溶けていければと思います、このようなテーマでお話させていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

中国の現状ですが、中国にいらっしゃったり、中国でお仕事をなさった方は理解して頂けるかもしれませんが、テレビを通じて今の中国の事を見ている方は、「なんでそんなこと？」と思うかもしれません。今、中国は大きな問題を抱えています。日本で報道されているように日本が嫌いとか、日本人が嫌いという事は全く無いとは言えませんが、それが主流だとも言えません。中国では今、貧富の差がとても激しいです。中国は人口が多く、お金持ちがどんなに増えたといっても、まだまだ多くの人々は貧しい生活をしているのが現状です。

貧富の差に関わるのが住宅問題です。中国では、アパートは借りられますが色々な問題が関わっています。アパートを借りても、そこに住民票はありません。住民票は自分の生まれたところにあるため、アパートを借りられたとしても、そこに住民票がなければ、

子供達は義務教育を受けられないという問題があります。私がなぜ華南理工大学を選んだかと言うと、国立大学で附属の幼稚園から小学校、中学校まで全部あるので、子供の教育問題を心配しなくてもよかったからです。しかし、広州市などの市内に住んでいたとしても、住民票がある場所の教育機関にしか入学できないのが現状であります。つまり大都市に住んでいても、子供の教育や生活で精一杯の人が大多数であります。

それから中国の問題のもう一つは就職問題です。日本も大変ですけど、中国はもっと大変です。それは4年の大学ばかりでなく、修士、博士もです。日本では自殺率が40代から50代に多いですが、中国では大学生に多いです。中国では7月が卒業なので4月から6月までの間自殺率がグッと上がります。先生達は学生の精神的な教育をします。今の大学生は一人っ子が多く、自立心が弱く、個性が強いんです。それから就職しても給料が安いんです。広州市で給料をもらって、アパートを借りて生活するのはなかなか難しいです。

中国のGDPが日本を越えました。国としては豊かになったのかもしれませんが。いろんな大都市では環境も交通も以前に比べれば良くなりました。今は中国にも新幹線が走っています。しかし個人個人、特に田舎に住む国民の80%以上である農民達は生活が出来ないため、街に押しかけますが、街に来たからといって儲けられる訳ではありません。日本のテレビで、大学生がいろんな運動に参加すると言われていますが、中国では殆ど無いです。日本と違い、中国のほとんどの大学生はキャンパス内で寮生活をしており、運動のある当日はキャンパス内を出る事を禁止されています。日本では中国人が反日感情を持っていると思っているかもしれませんが、実際はそうではありません。

平和を望んでいる中国人民は、平和を望む日本という国から色々な技術や先進的なものを見習って、自分も豊かになろうとしている人たちが主流です。日本語教育に関する色々な学会も開かれていますし、日本語学習者も増え続けています。日本の先進的な技術、そしてどうして日本はこんなに豊かになったのか、どうしてこんなに健康であるか、食品に関する勉強や環境に関する事、そのような事を勉強しようとしている人が多いんです。中国は今、発展途上なので色々なところで環境が破壊されています。それを保護するための研究をしようと、日本語を勉強する若者が増えていきます。学習者は増え続けているのですが、教師が足りないのが現状です。毎年増えている私立の大学はほとんど日本語学科を設置しています。中国は日本と隣国であり、一衣帯水であります。隣国である中国と日本、もっと平和で豊かになるのではないかと私は常に思っております。

日本の恩恵を受けている中国人の留学生は多いと思います。その恩をいかに返すか、どこかで私もその恩返しができるかと頑張っていきたいと常に思っています。コミュニケーションをする時に言葉だけでは通じません。心を込めないコミュニケーションはうまく円滑にはいかないと思います。私は日本語教育の中でも日本の習慣、日本の文化、日本の経済、日本の変化、そして日本語の変化を常に受け入れながら、また教えながら、日本人と中国人のそのような誤解を埋めながら、やっていきたいと常に思っております。それから常に感謝の気持ちを持って、生きていきたいと思えます。どうかよろしくをお願いします。ありがとうございました。

## 例会のご案内

### ■今週の行事 3月10日(木) I.D.M.

場 所: ヒルトン名古屋4階「桜の間」  
時 間: 18:00～20:00

### ■次週の卓話 3月17日(木)

会 員: 関谷俊征  
テ ー マ: ボウリングの歴史

### ■次々週行事 3月24日(木) RACとの合同例会

場 所: ヒルトン名古屋4階「桜の間」  
時 間: 19:00～20:30